



unitech



JobGen Plus

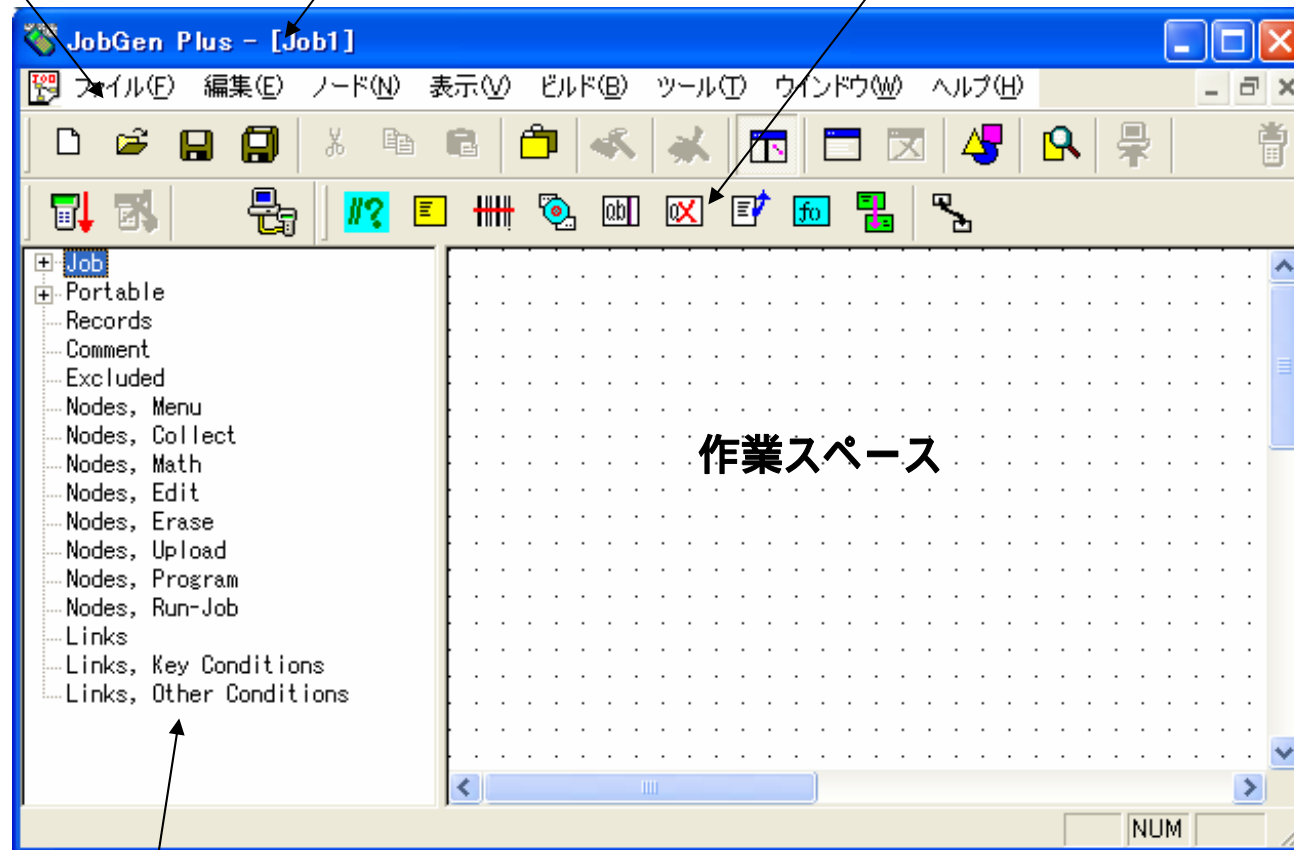
- PT630用アプリケーション・ジェネレータ
 - プログラミングの知識不要
 - 簡単なプログラムから
複雑なアプリケーションまで
 - フローチャートを書くようにアプリケーションを開発
 - スクリーンイメージ通りにメニュー作成が可能
 - PC上でプログラムのシミュレーション可能
 - C言語とのインターフェースによる拡張性

JobGen Plus メインスクリーン

メニューバー

アプリケーション名

ツールバー



作業スペース

プロパティリスト

簡単なアプリケーション作成の例

- 備品管理システム

- 各部署にある備品情報を収集します。

- 各データレコードは、部署情報と備品情報を含んでいます。

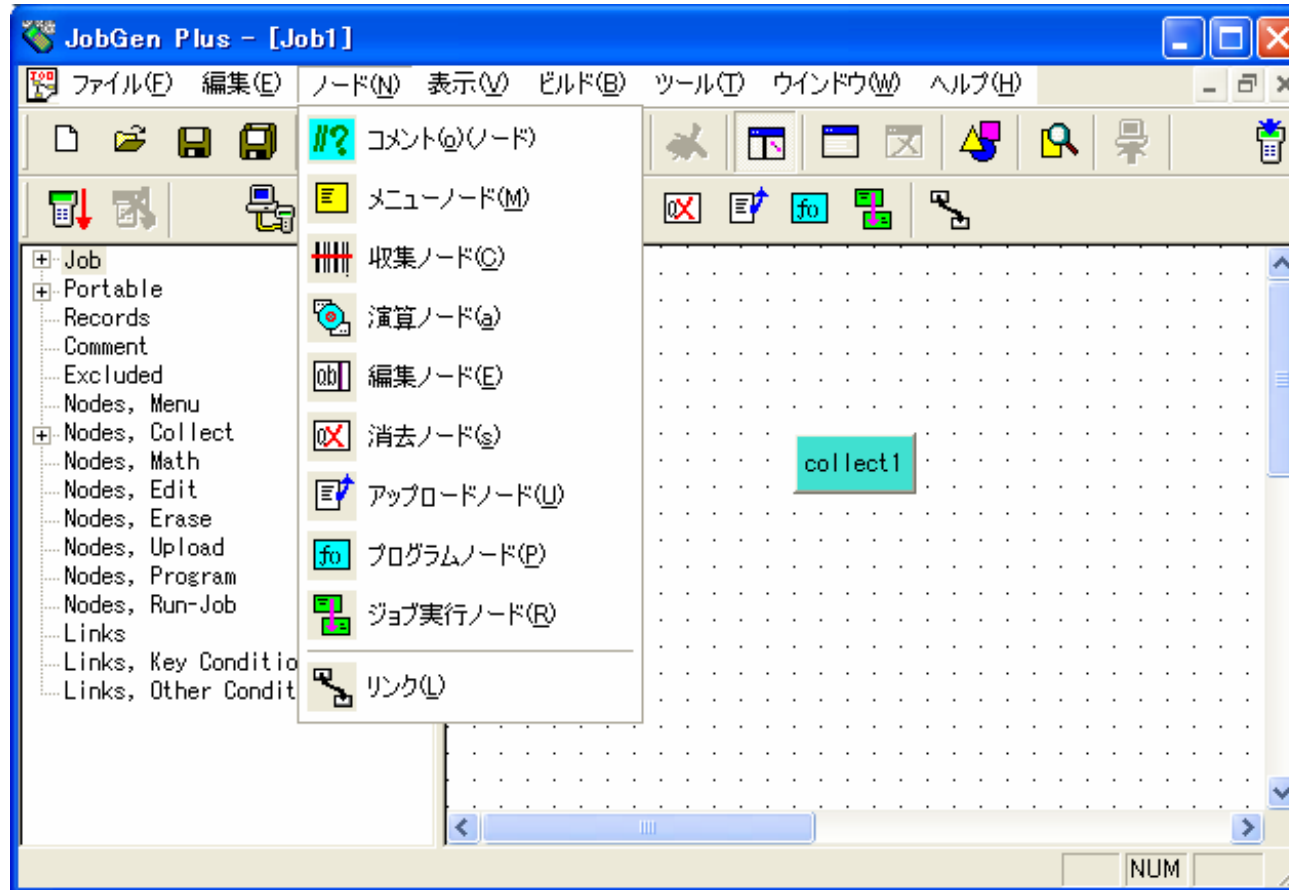
- ハンディターミナルでは以下の情報を収集します。

- 部署の情報を収集

- 同じ部署の場合は、繰り返し入力不要。部署が異なる場合はF1キーを押して入力します。

- 備品番号を収集

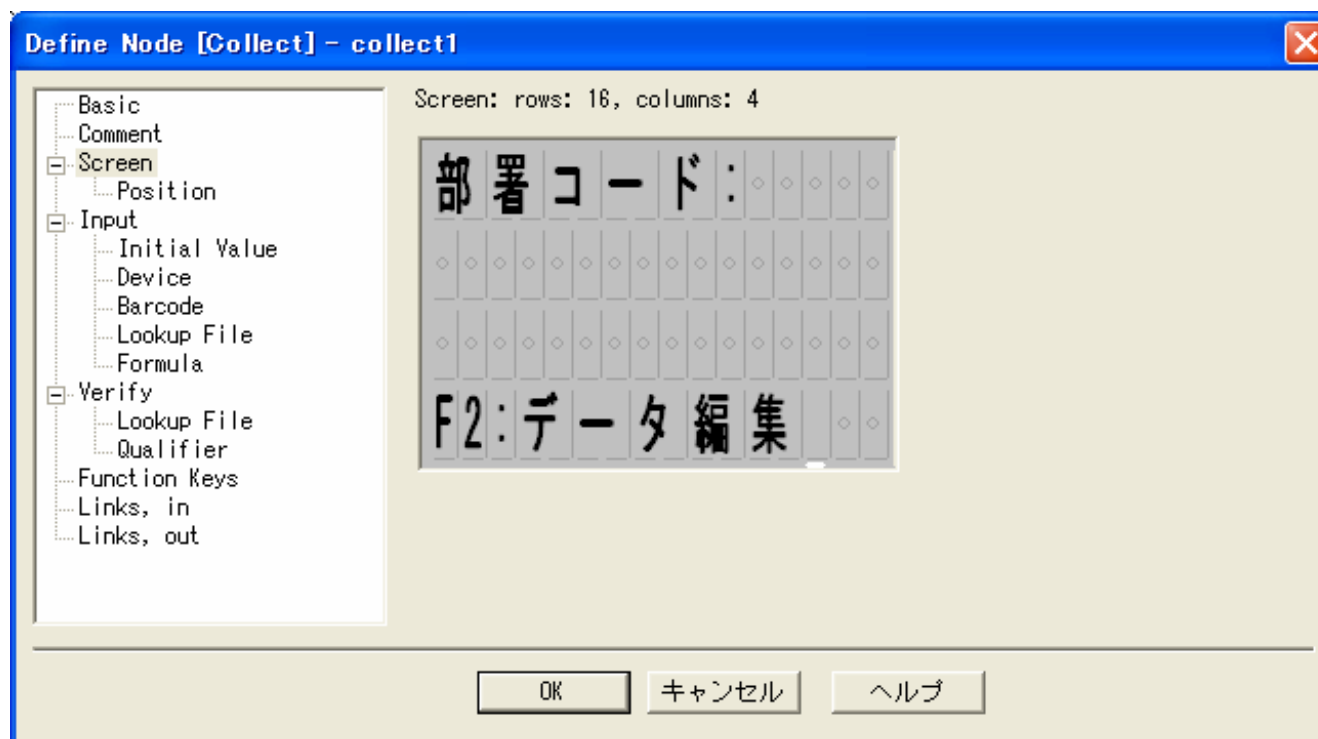
収集ノード(部署)を作成



1. ノードメニューから収集ノードをクリック
2. 作業スペースの適切な位置をダブルクリック
3. Collect1のボックスが現れます
4. 作成された収集ノード(Collect1)をダブルクリック

収集ノード(部署)の定義

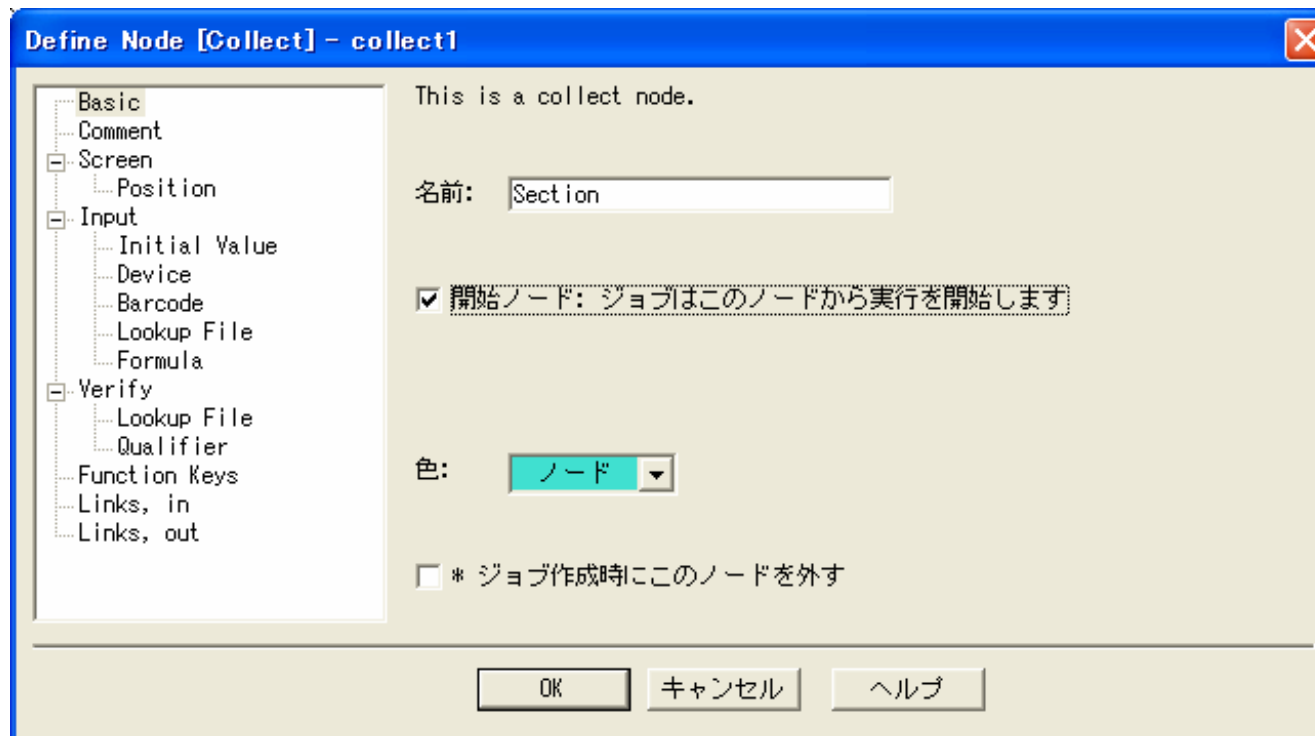
- Screenプロパティ



1. Screenプロパティで、ターミナルのメニュー画面を定義します。
2. Basicプロパティを選択します。

収集ノード(部署)の定義

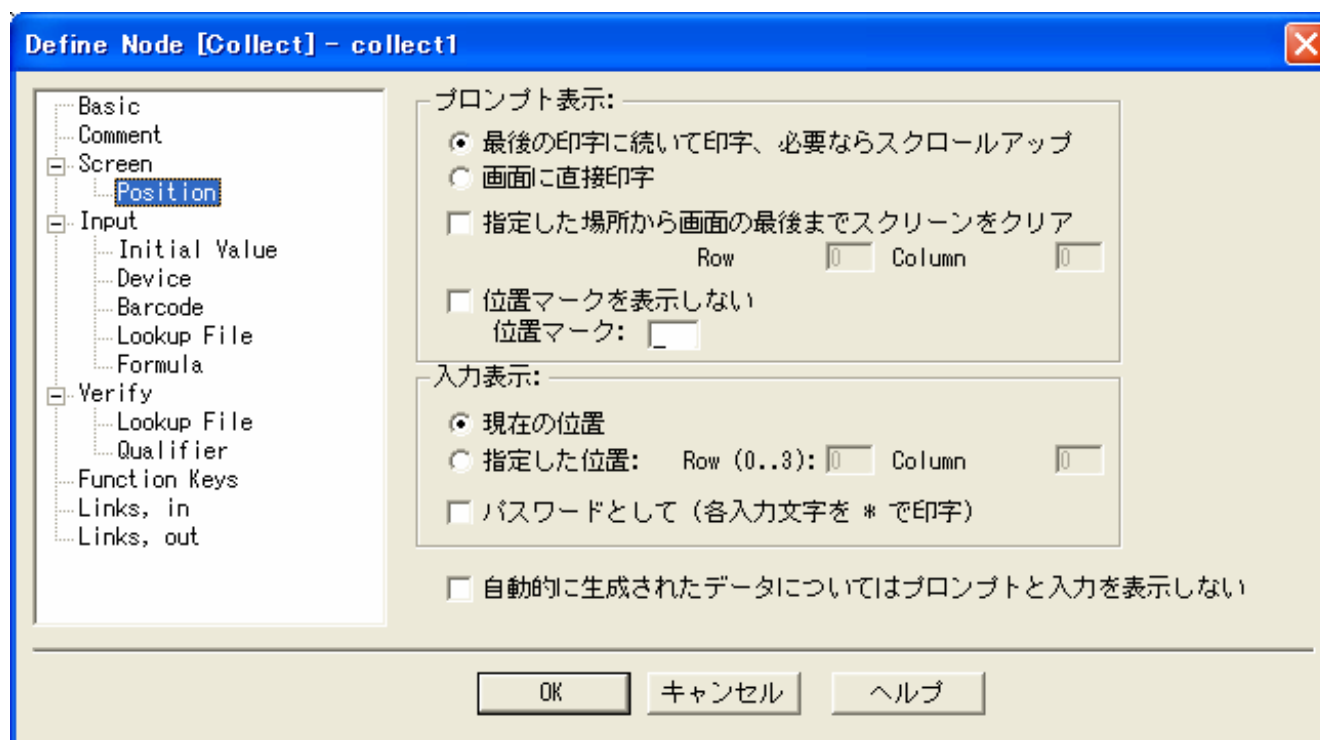
- Basicプロパティ



1. 名前をSectionに変更します。
2. 開始ノードをチェックします。
3. Positionプロパティを選択します。

収集ノード(部署)の定義

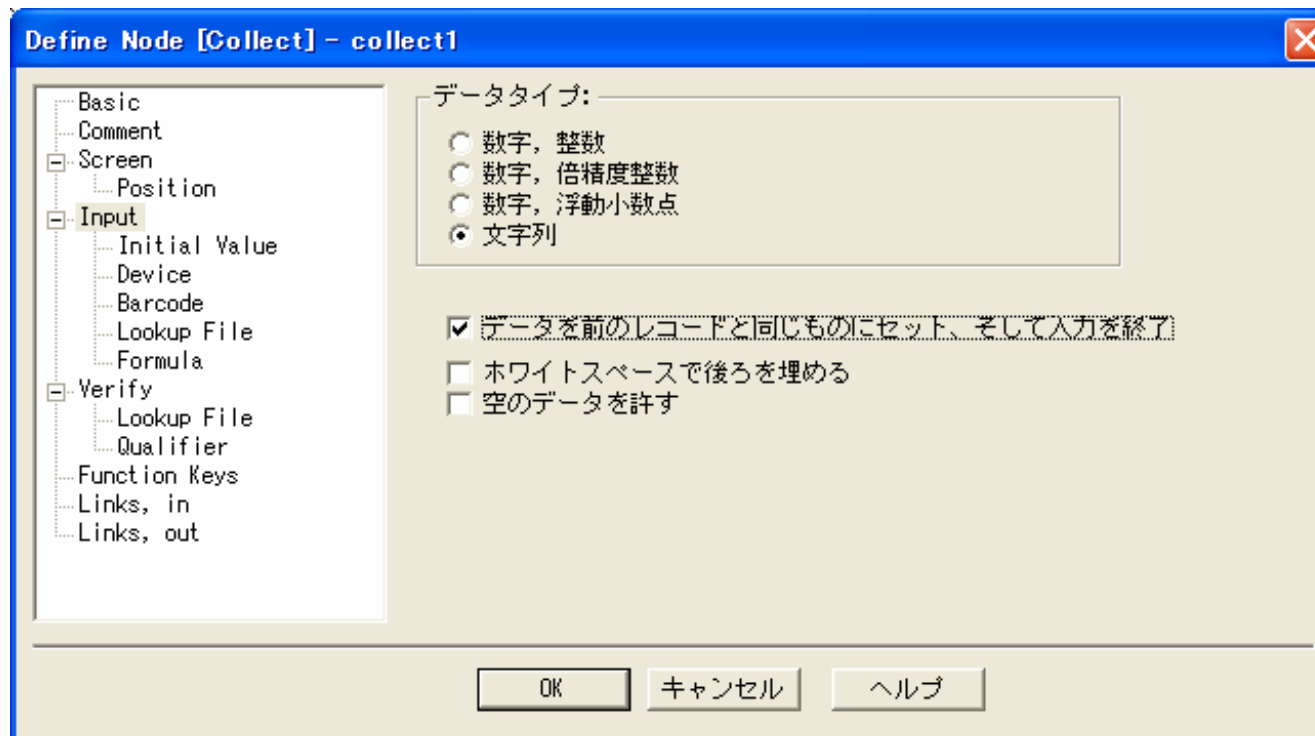
- Screen -> Positionプロパティ



1. スクリーンをクリアするために、”指定した場所から画面の最後までスクリーンをクリア”をチェックし、RowとColumnにそれぞれ0を入れます。
2. 入力したデータを二行目に表示するために、”指定した位置”をチェックし、Rowに1をColumnに0を入れます。
3. Inputプロパティを選択

収集ノード(部署)の定義

- Inputプロパティ



1. 部署名は毎回入力する必要はありませんので、“データを前のレコードと同じものにセット、そして入力を終了”をチェックします。
2. Verify プロパティを選択

収集ノード(部署)の定義

- Verifyプロパティ

Define Node [Collect] - collect1

Basic
Comment
Screen
 Position
Input
 Initial Value
 Device
 Barcode
 Lookup File
 Formula
Verify
 Lookup File
 Qualifier
Function Keys
Links, in
Links, out

長さ:
From: 0 To: 64

範囲:
From: To:

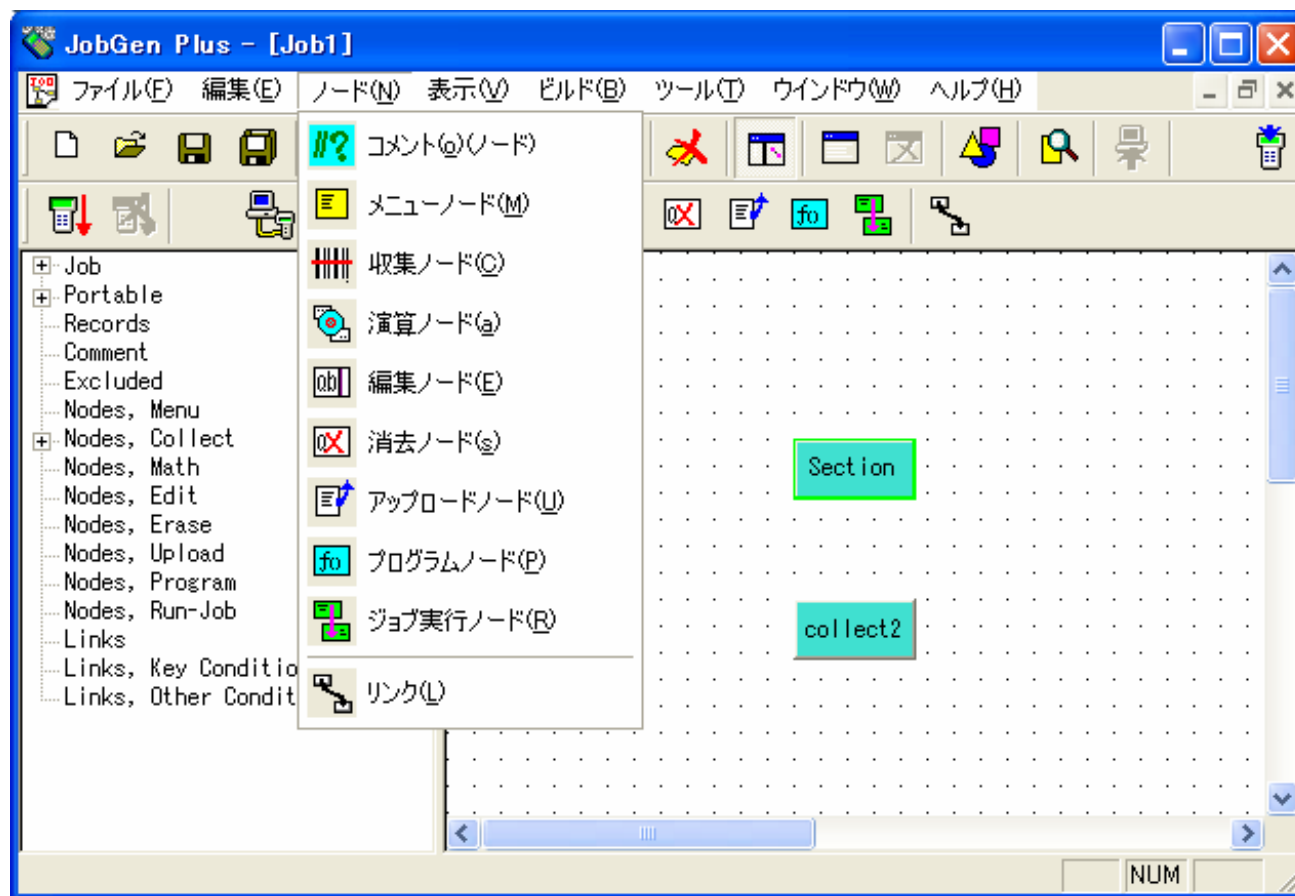
ピクチャ:

検証パスしなかった場合再入力しない
 検証パスしなかった場合ピープ音を出さない
 検証パスしなかった場合エラー記号(文字 *)を印字しない

OK キャンセル ヘルプ

1. 長さをチェックし、From(最小値)を0、To(最大値)を64とします。
2. 次に、備品番号の入力を定義します。

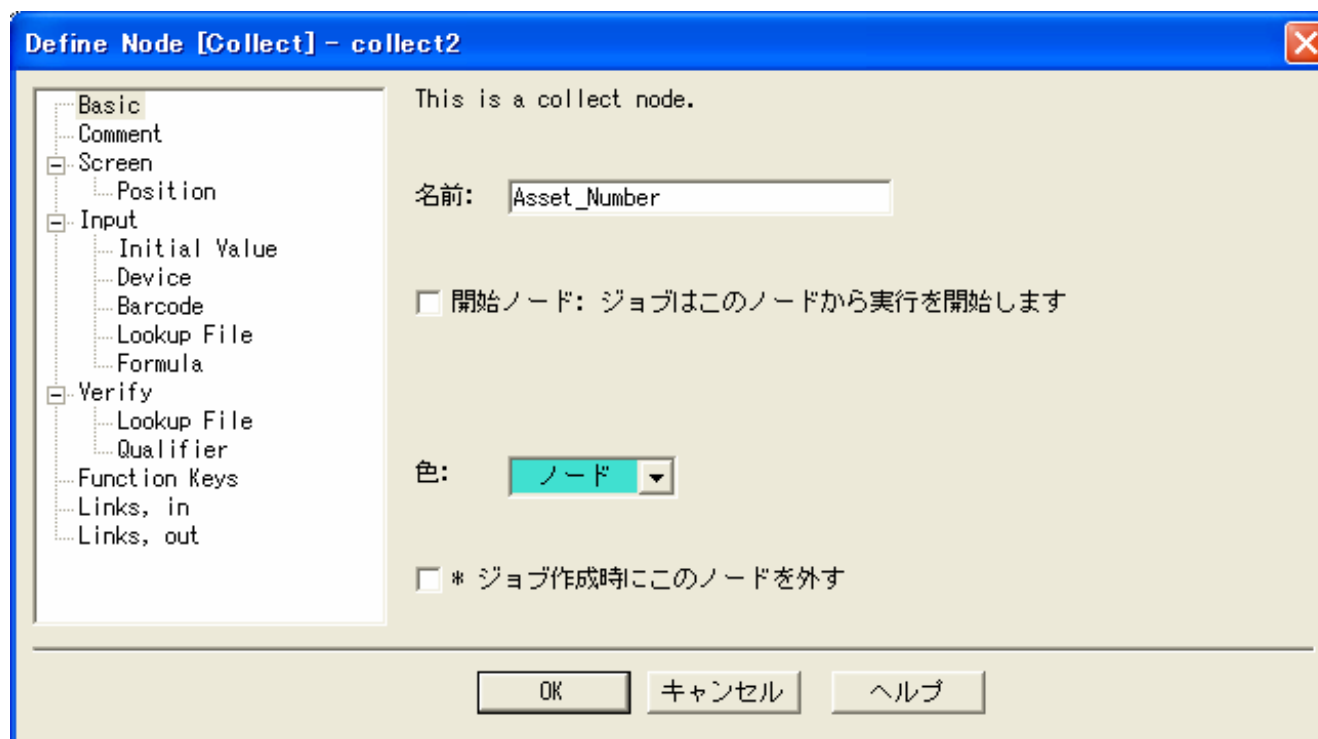
収集ノード(備品番号)の定義



1. ノードメニューから収集ノードを選択します。
2. マウスを作業スペースの適当な位置でダブルクリックします。
3. Collect2のボックスが現れます。
4. 作成された収集ノード(Collect2)をダブルクリック

収集ノード(備品番号)の定義

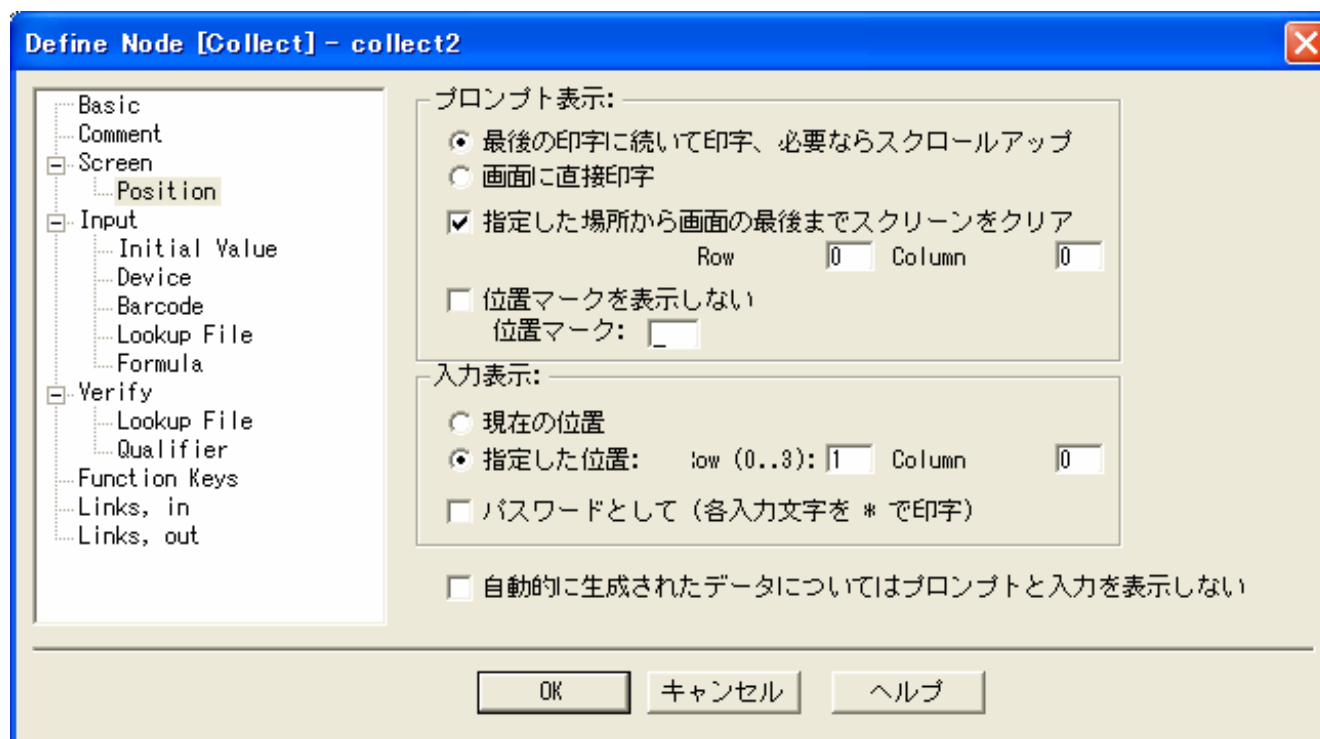
- Basicプロパティ



1. Basicプロパティを選択します。
2. 名前を Asset_Numberに変更します。
3. Screen->Positionプロパティを選択します。

収集ノード(備品番号)の定義

- Screen -> Positionプロパティ



1. スクリーンをクリアするために、”指定した場所から画面の最後までスクリーンをクリア”をチェックし、RowとColumnにそれぞれ0を入れます。
2. 入力したデータを二行目に表示するために、”指定した位置”をチェックし、Rowに1をColumnに0を入れます。
3. Screenプロパティを選択

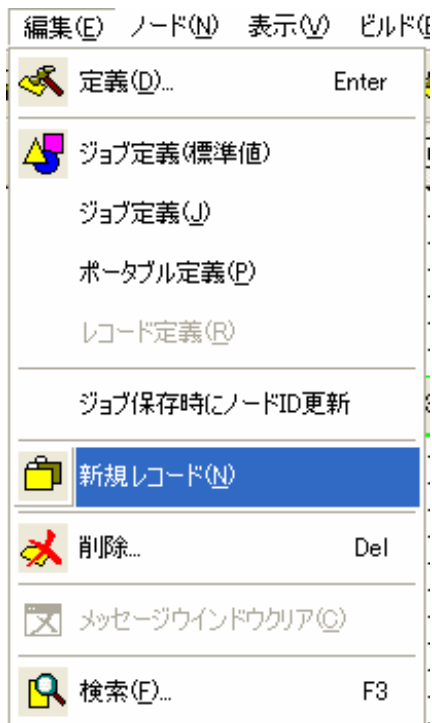
収集ノード(備品番号)の定義

- Screenプロパティ



1. Screenプロパティで、ターミナルのメニュー画面を定義します。
2. OKをクリックします。

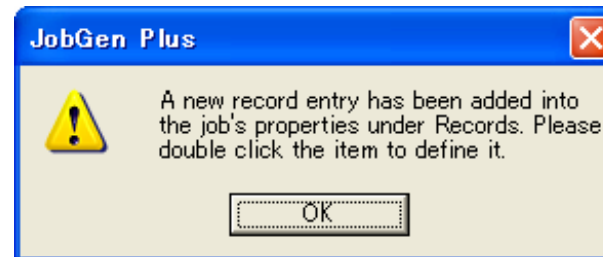
レコードの定義



1. 編集メニューから”新規レコードを選択します”
2. Add a new record? に”はい(Y)”をクリックします。

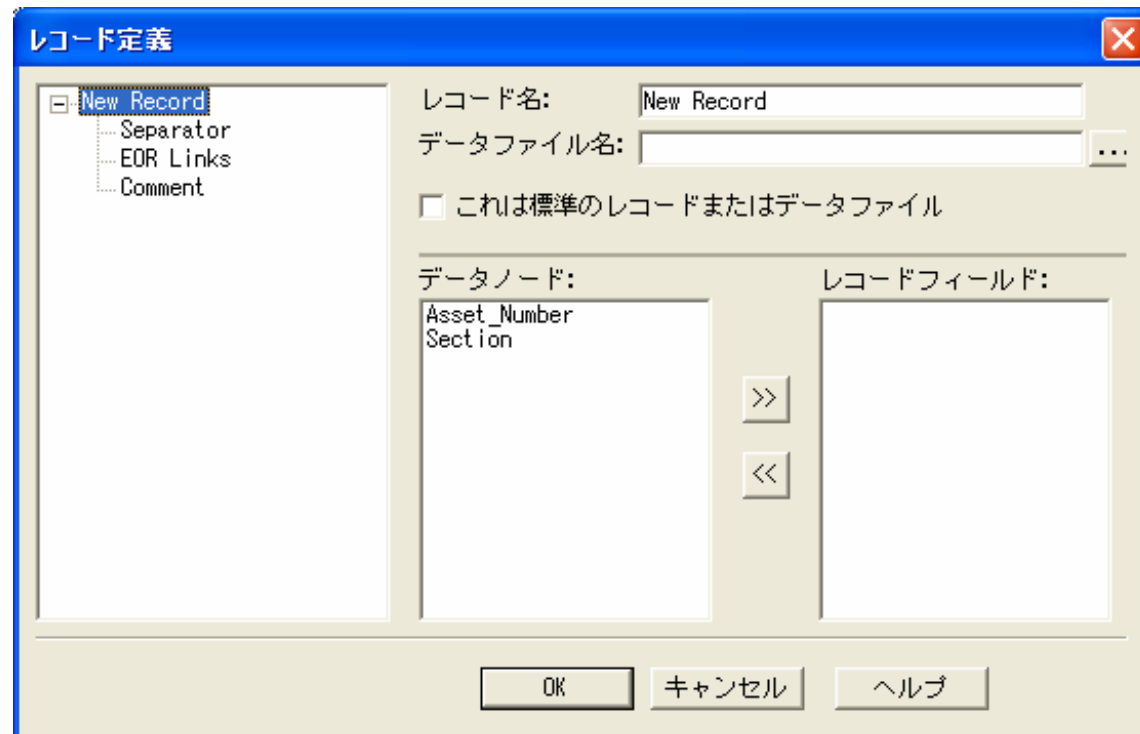


3. 次のメッセージにOkをクリックします。



レコードの定義

1. 編集メニューからレコード定義を選択します。
2. 下のダイアログが現れます。



レコードの定義

レコード定義

レコード名: ASSETMGT

データファイル名: ASSETMGT.TXT

これは標準のレコードまたはデータファイル

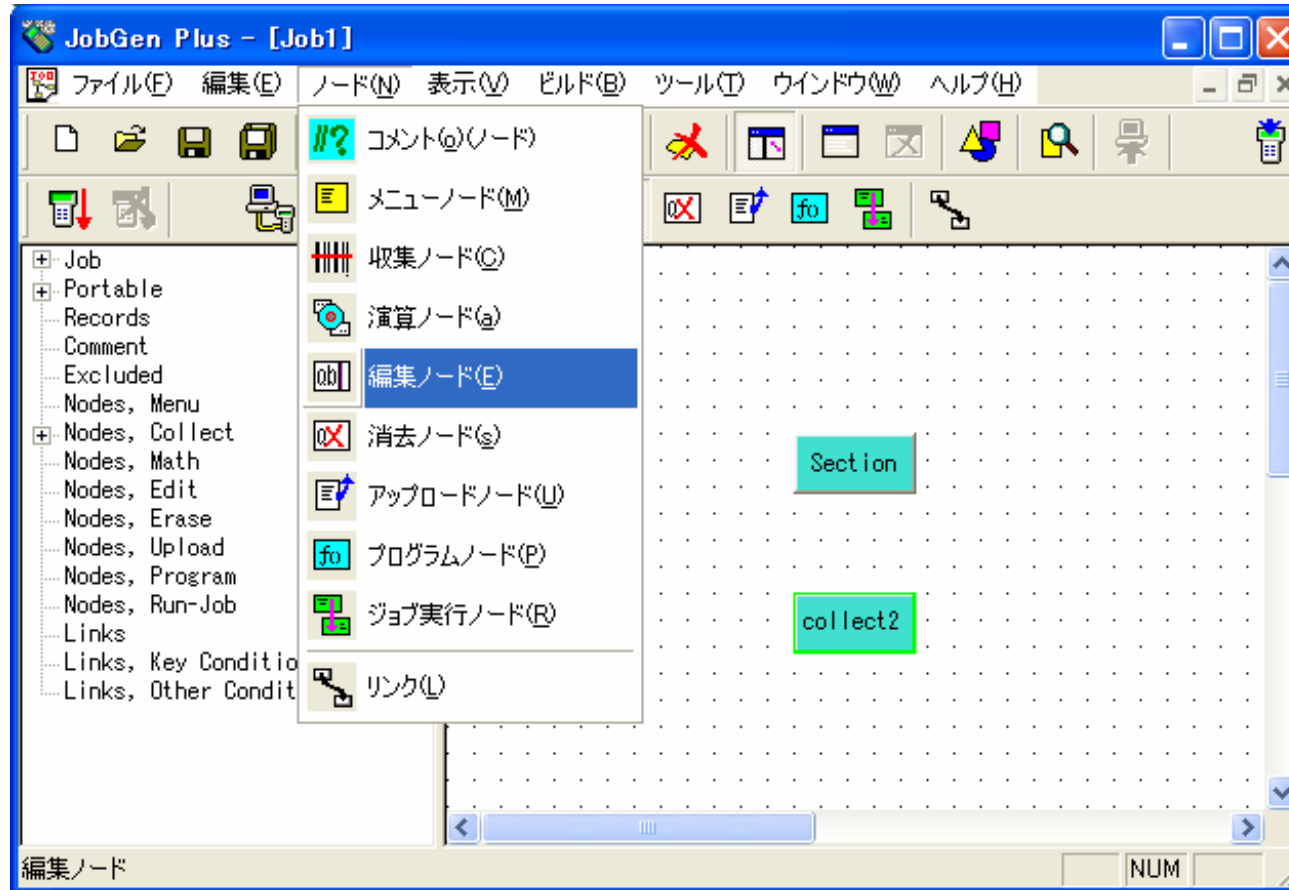
データノード:

レコードフィールド:
Asset_Number
Section

OK キャンセル ヘルプ

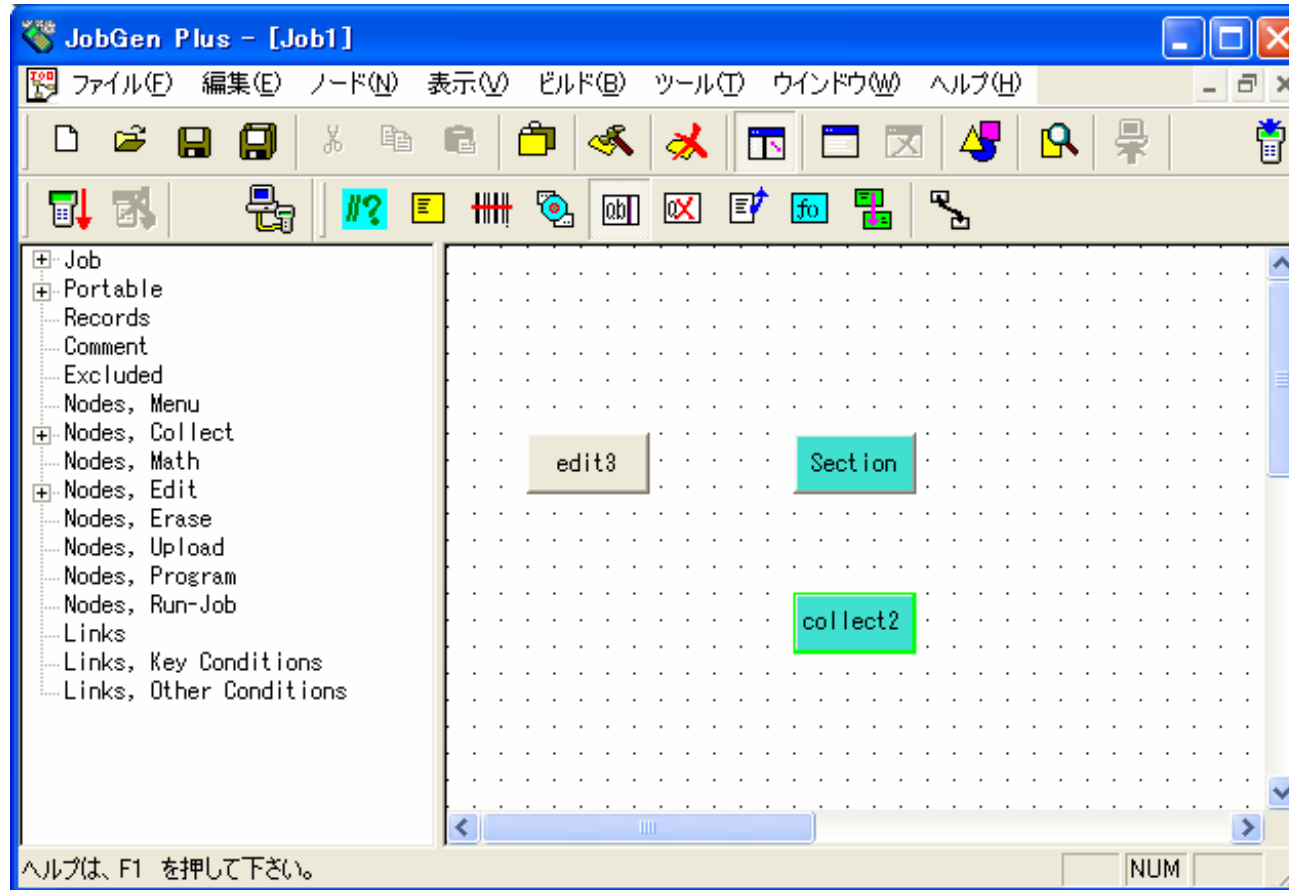
1. レコード名を入力します。
2. データファイル名を入力します。
3. レコードのフィールドデータを中央のデータノードから>>ボタンを押して右のレコードフィールドのボックスに移動します。
4. OKをクリックします。

編集ノードの定義



1. ノードメニューから編集ノードを選択します。
2. 作業スペースの適当な位置をダブルクリックします。
3. edit3のボックスが現れます。

編集ノードの定義



edit3のボックスをダブルクリックします。

編集ノードの定義

- Edit プロパティ

Define Node [Edit] - edit3

Basic
Comment
Edit
Function Keys
Links, in
Links, out

レコード名: ASSETMGT

データファイル名: ASSETMGT.TXT

フィールド区切り: , (Comma)

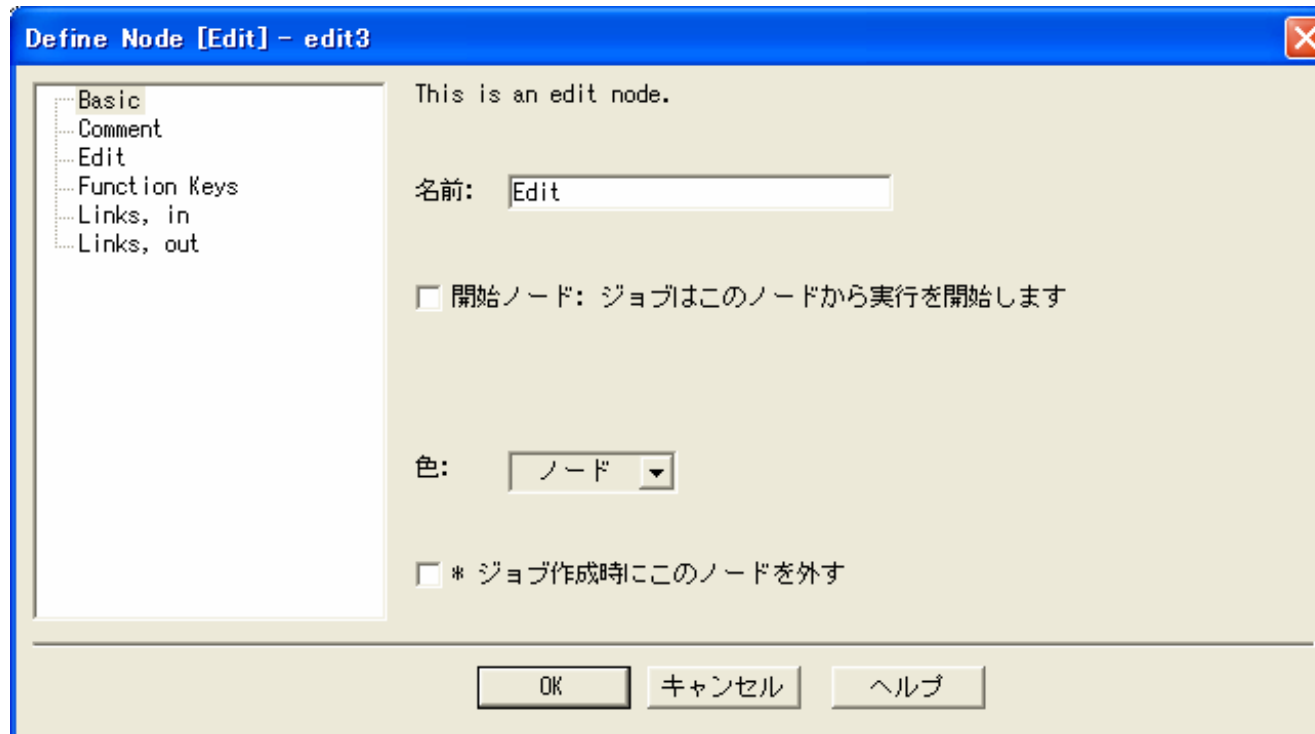
最後のレコードからブラウズ開始

OK キャンセル ヘルプ

1. レコード名を選択します。
2. データファイル名を選択します。
3. フィールド区切りはコンマとします。

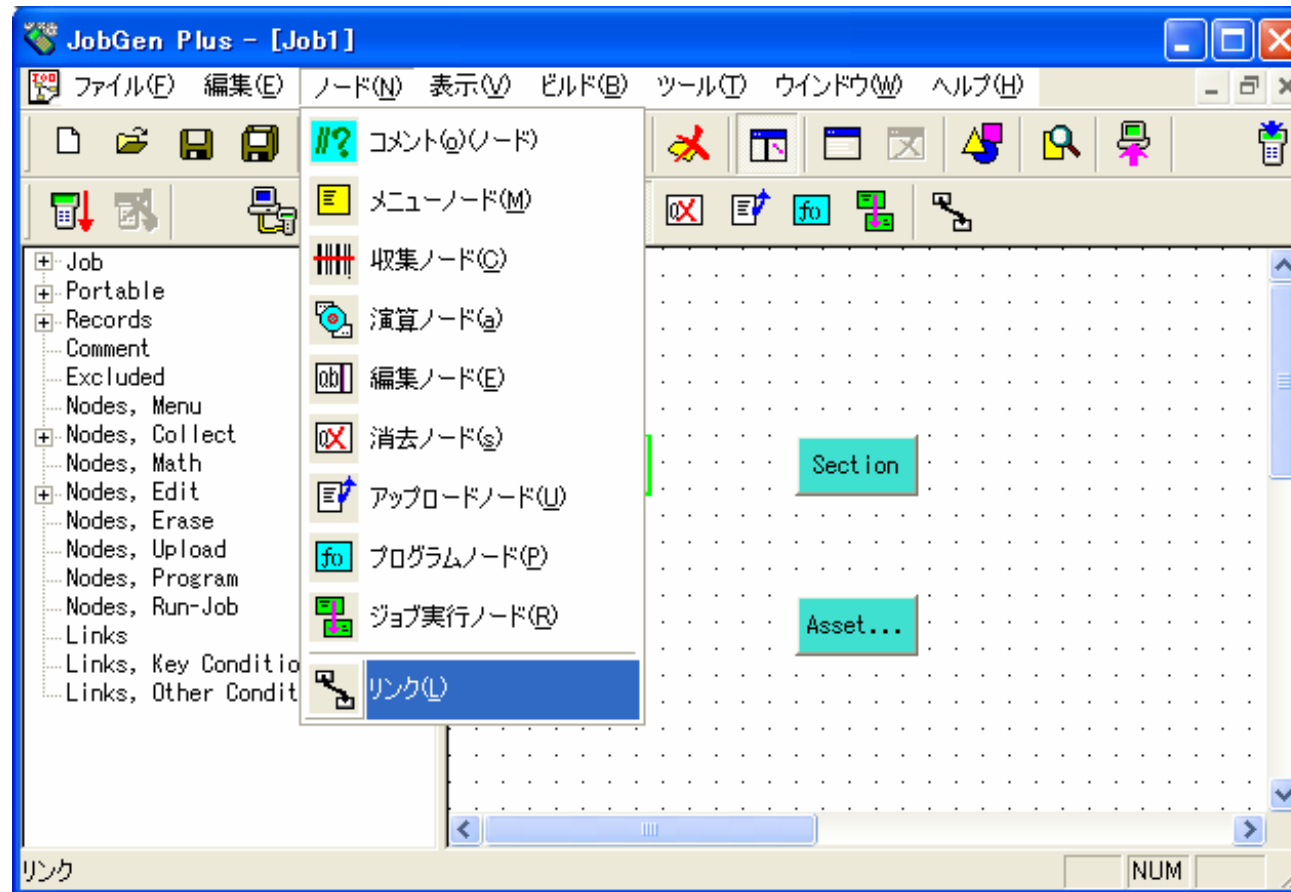
編集ノードの定義

- Basicプロパティ



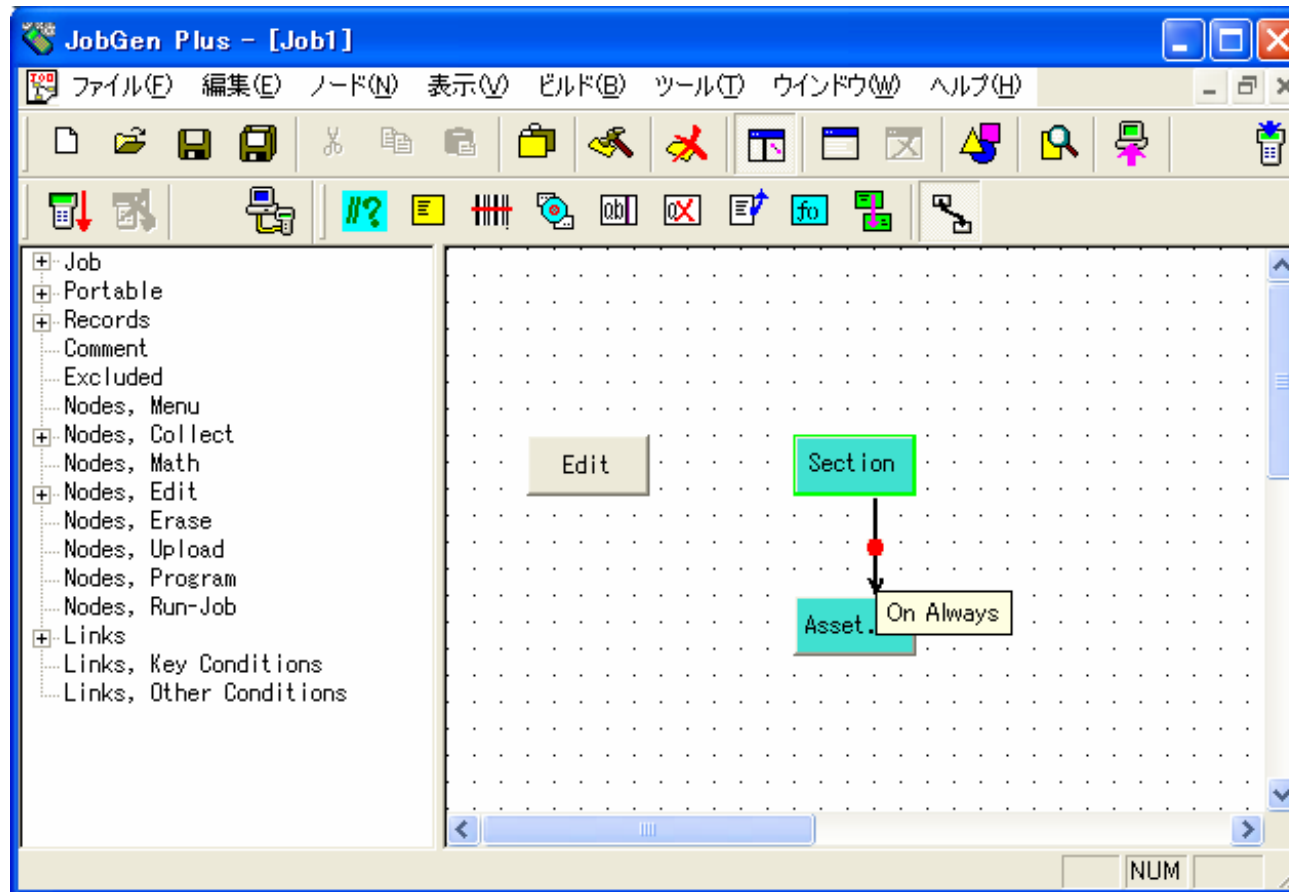
1. 名前をEditに変更します。
2. OKをクリックします。

リンクの作成



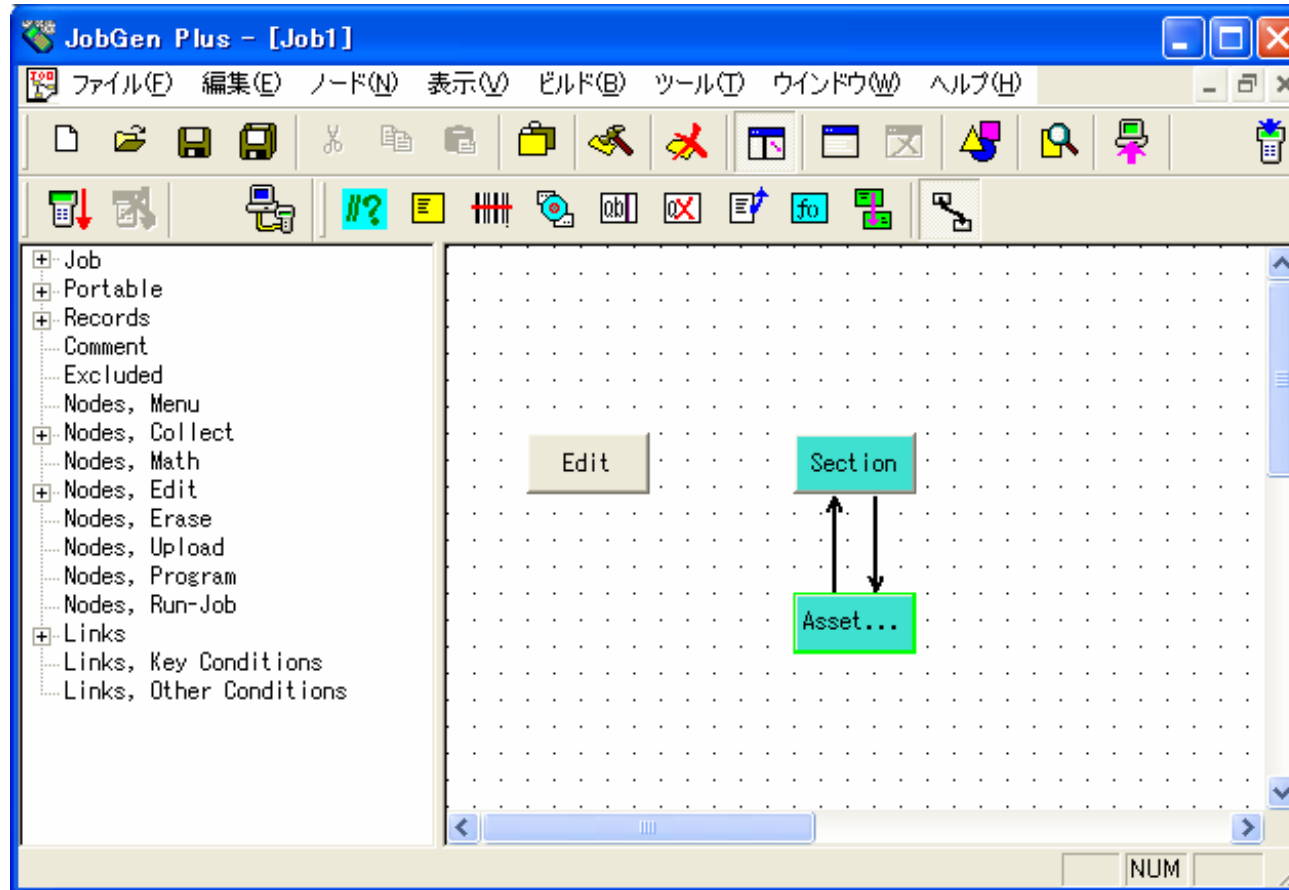
ノードメニューでリンクを選択します。

リンクの作成



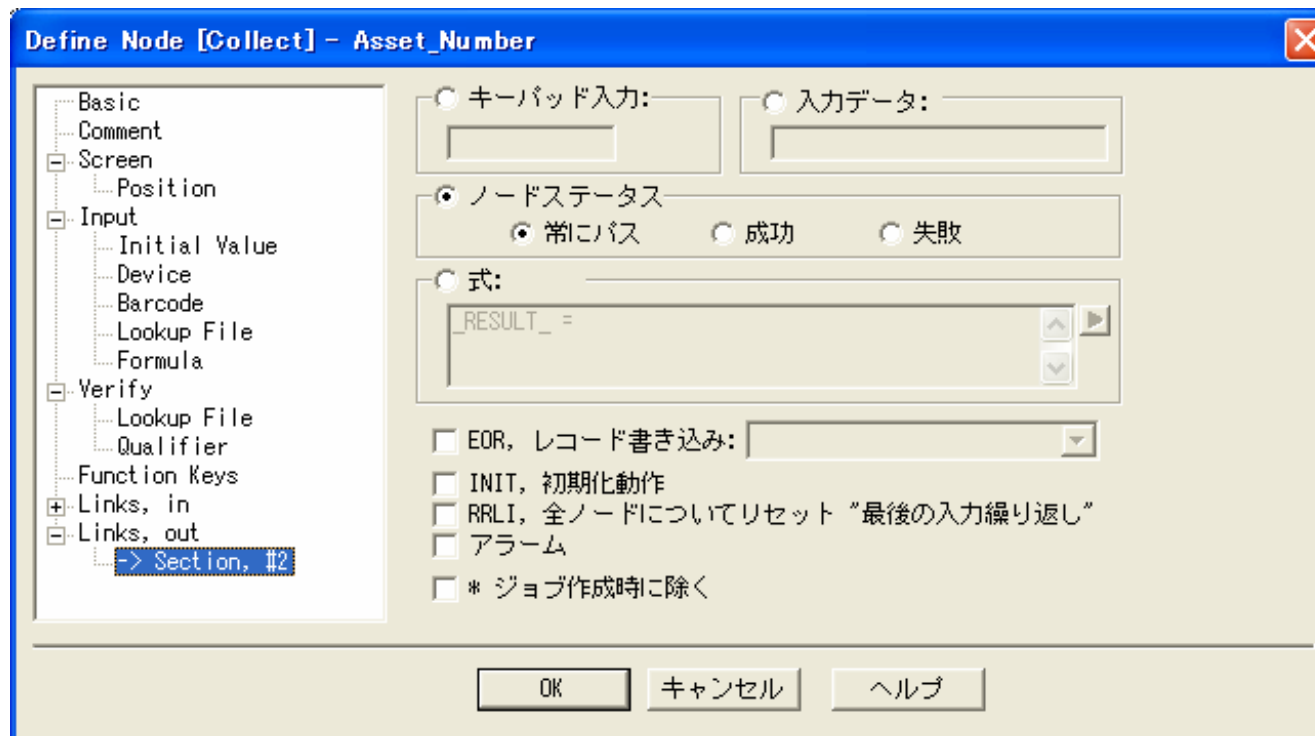
1. 部署データ収集後は常に備品番号データを収集します。図のリンクでは"On Always"でこれを表しています。
2. 備品番号データ収集後は、次の備品番号を収集するか、あるいは新しい部署番号データを収集します。

リンクの作成



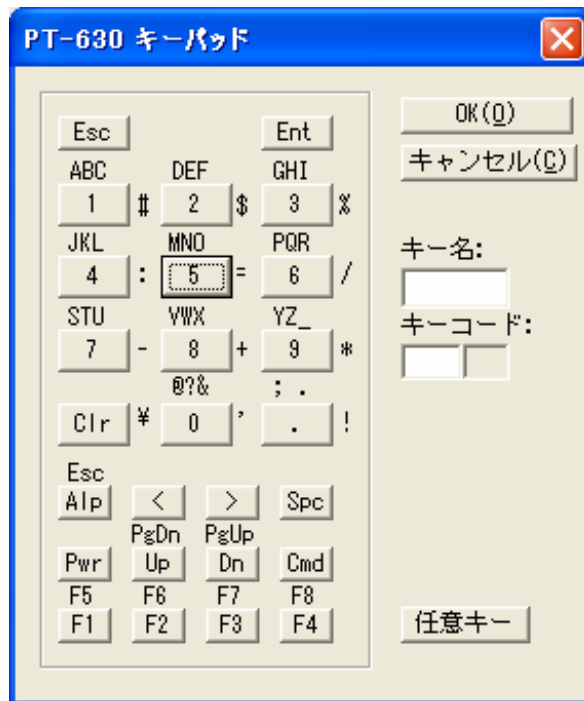
1. 備品番号収集ノードから部署番号収集ノードへのリンクを作ります。
2. このリンクは、F1キーを押したときのみ働きます。
3. このリンクをダブルクリックします。

リンクの作成



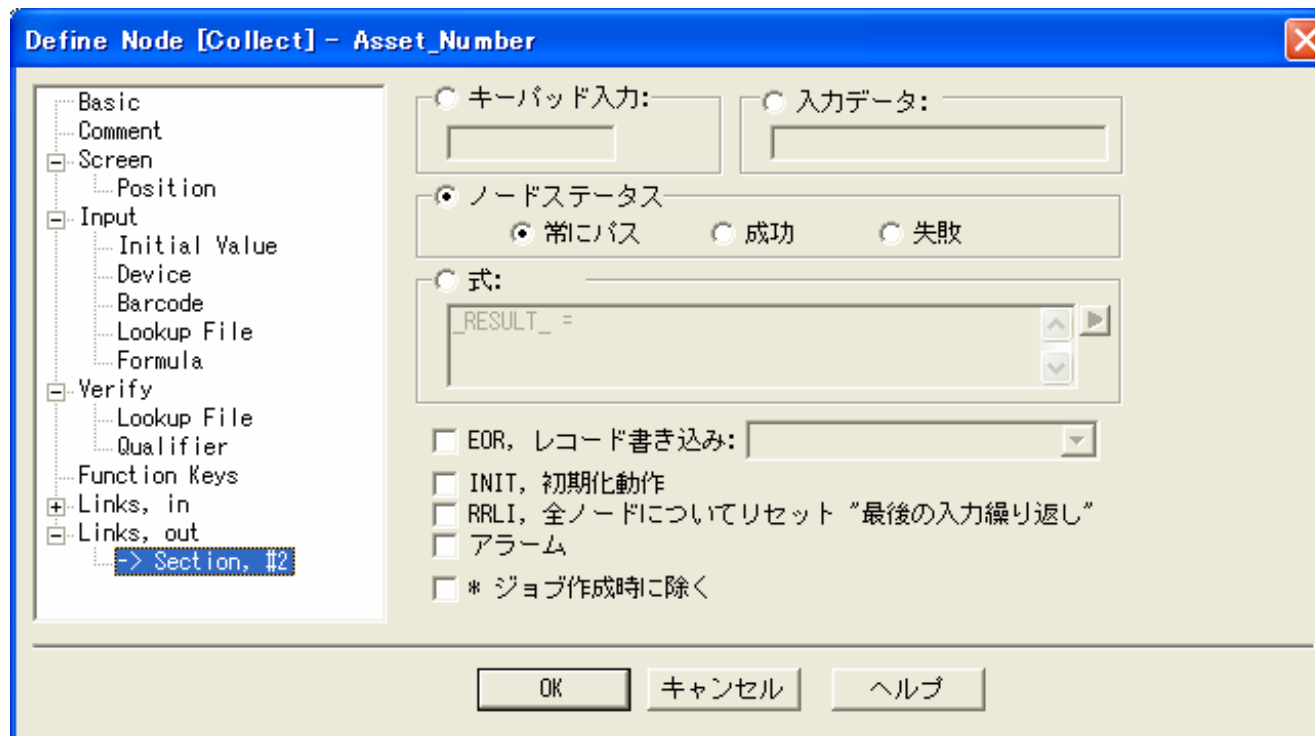
1. キーボード入力をチェックします。
2. 下の空白のボックスをマウスでクリックします。
3. PT630キーボードウィンドウが現れます。

リンクの作成



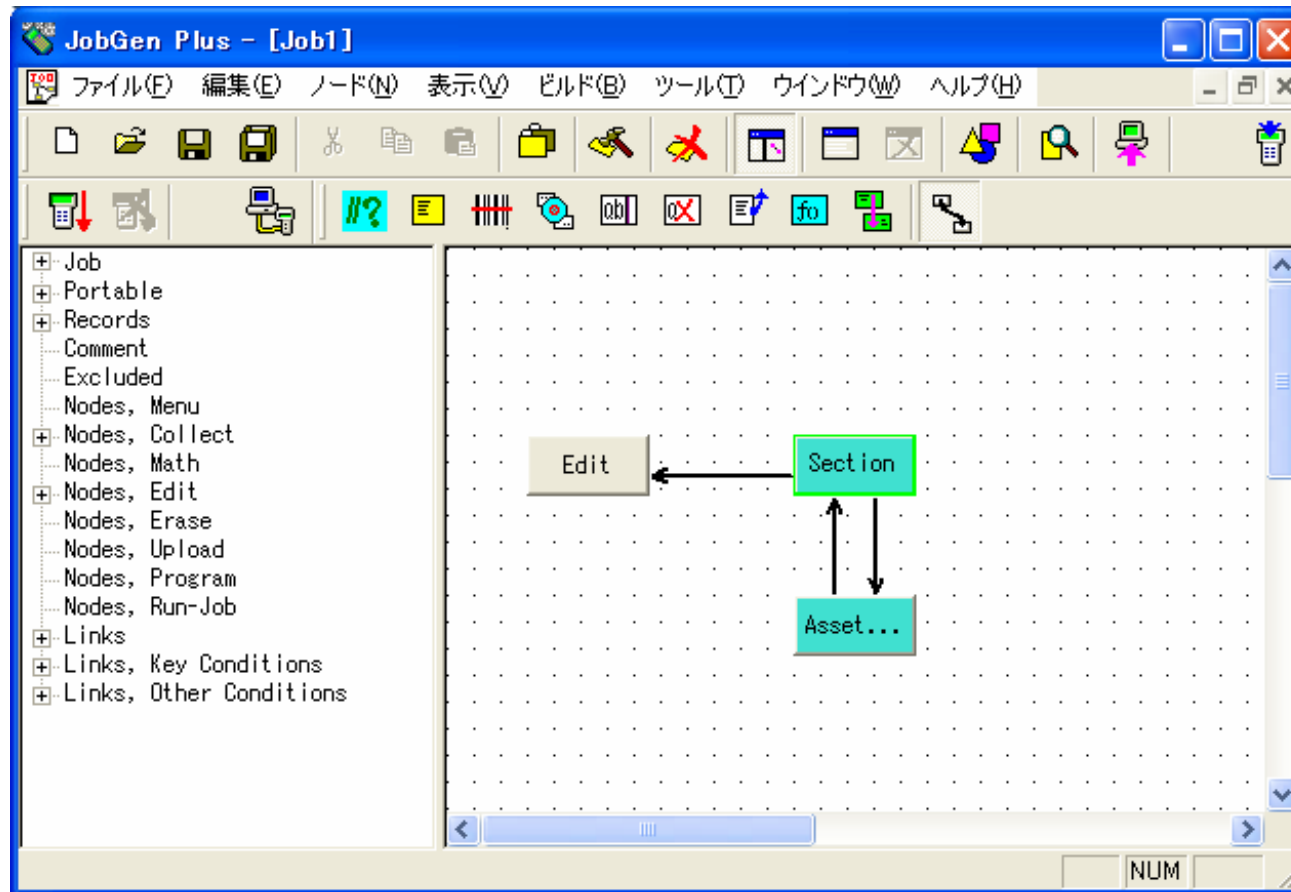
1. 図のF1キーをクリック
2. OKをクリック

リンクの作成



1. F1キーが押されたら、部署入力の繰り返し入力はやめて新しい部署データを入力します。このため、“全ノードについてリセット”最後の入力繰り返し”をチェックします。
2. OKをクリックします。

リンクの作成



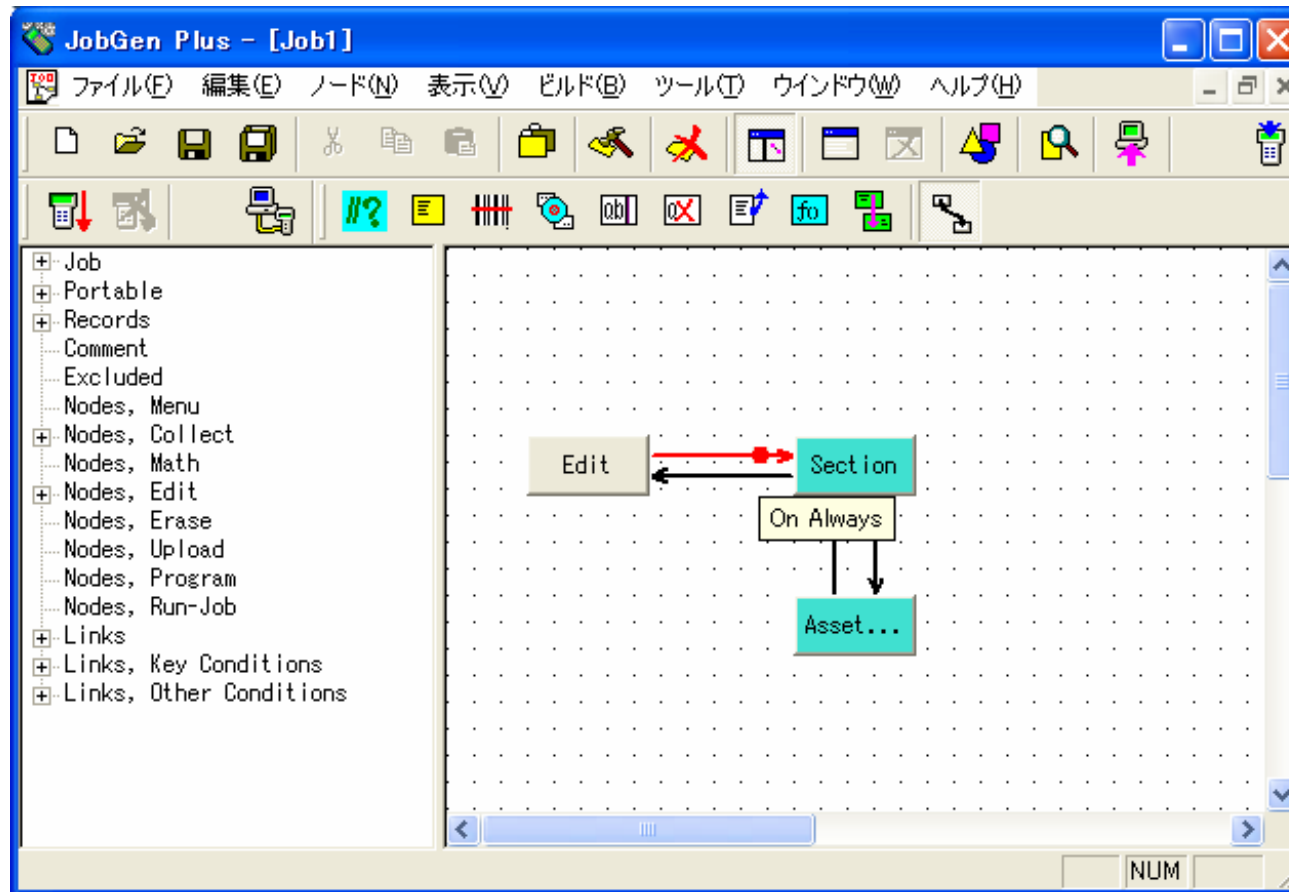
1. 部署入力から編集ノードへのリンクを作成します。
2. リンクの上をダブルクリックします。

リンクの作成



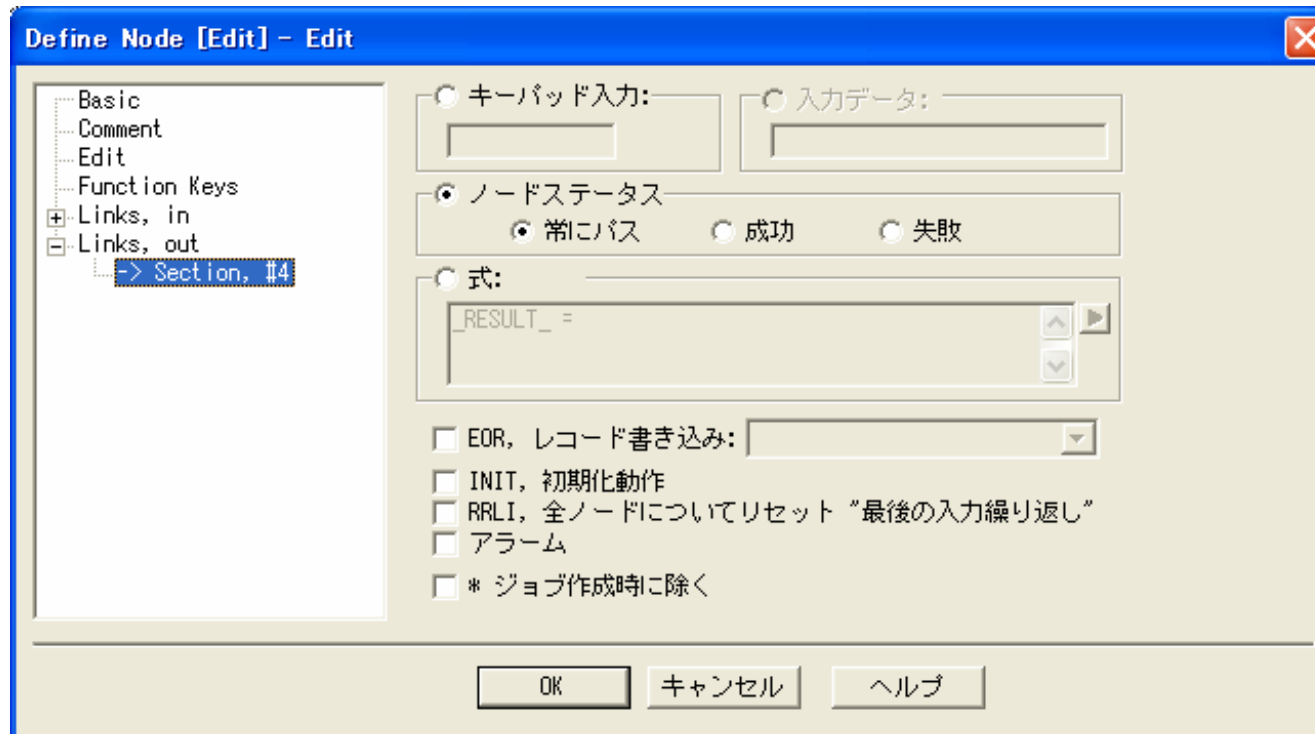
1. キーボード入力をチェックし下のボックスをクリックします。PT630のキーボードが現れます。
2. F2を選択します。
3. OKをクリックします。

リンクの作成



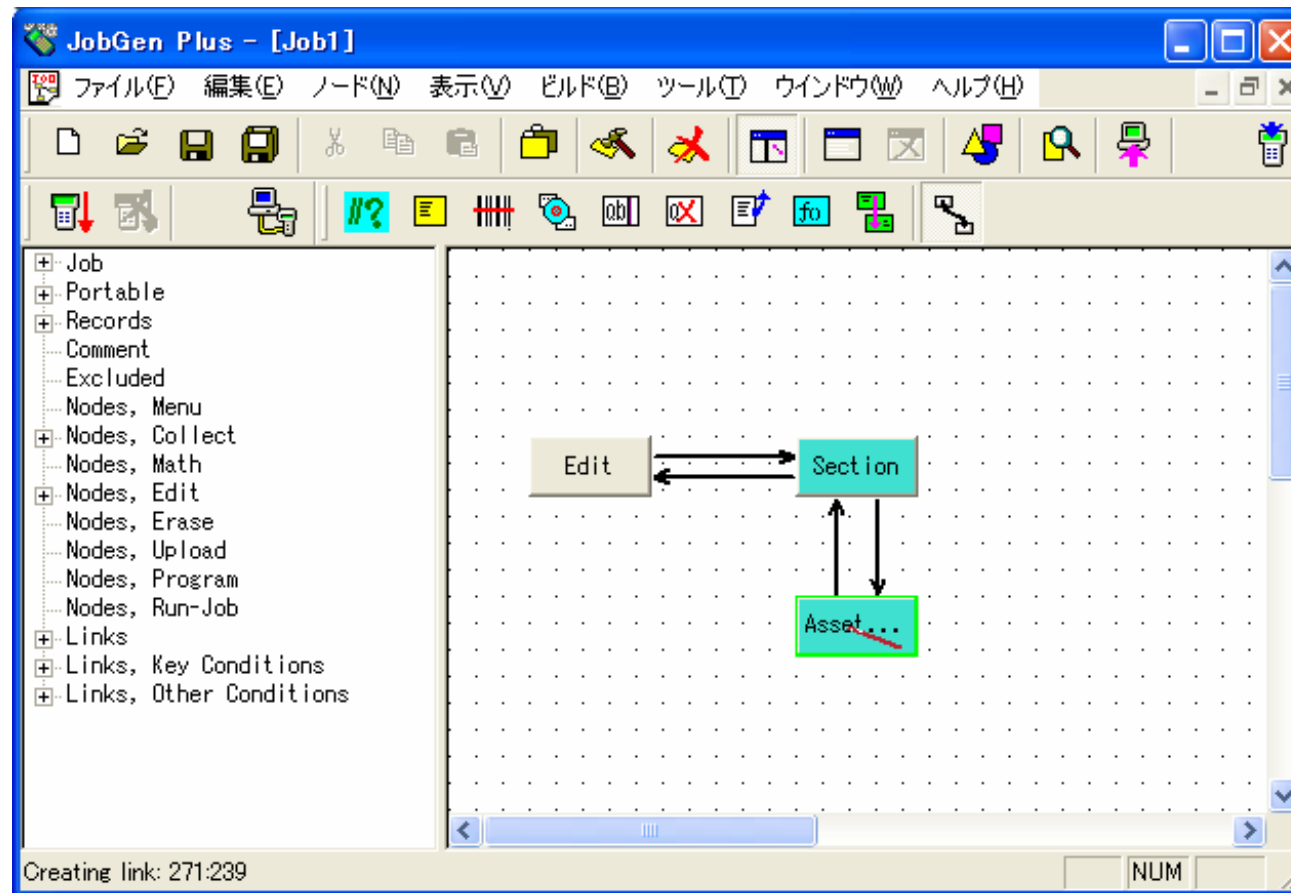
1. 編集ノードから部署入力へのリンクを作ります。
2. リンクの上をダブルクリックします。

リンクの作成

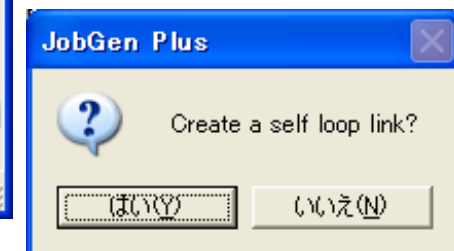


1. 編集が終わったら常に部署入力に戻ります。
2. ノードステータスは"常にパス"をチェックします。
3. OKをチェックします。

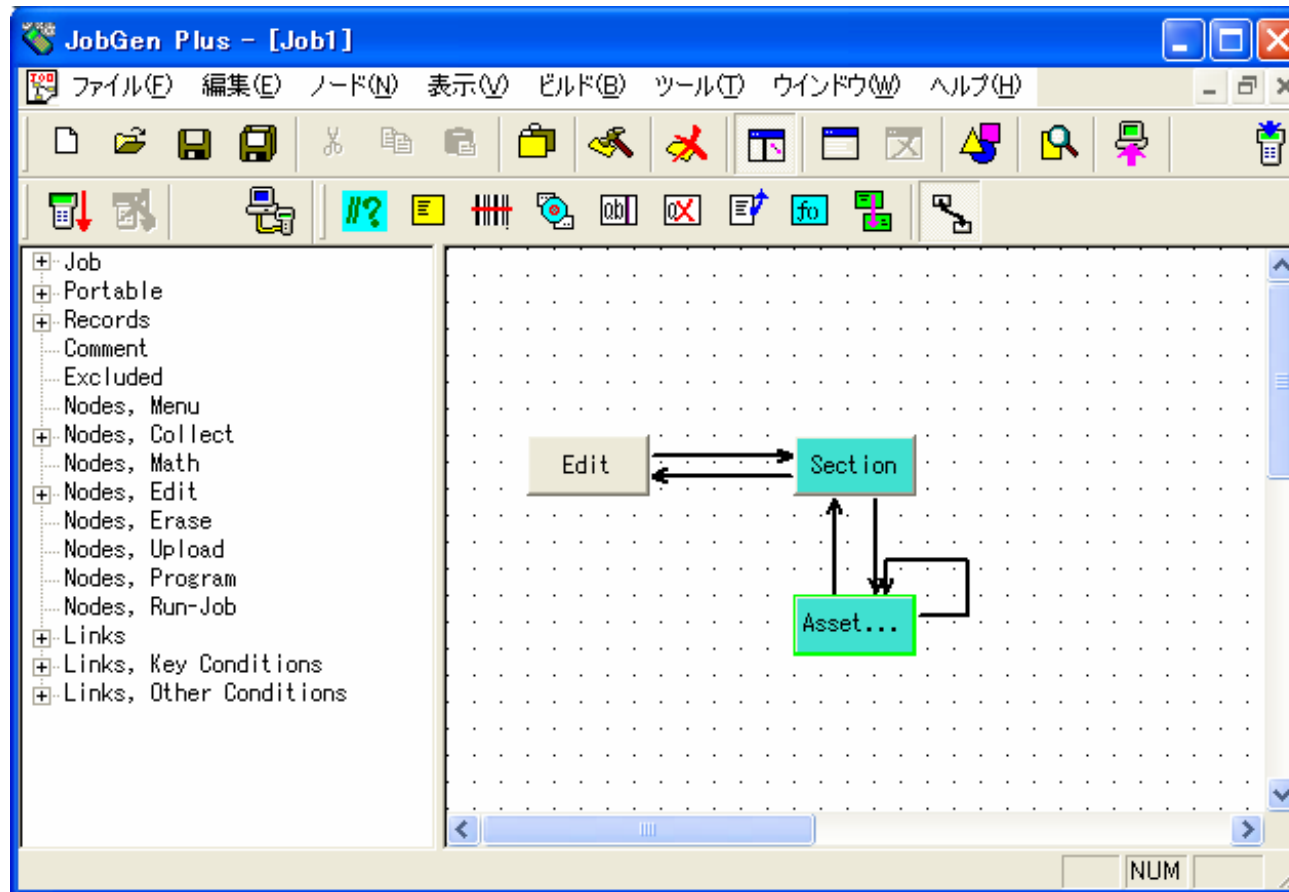
自己ループリンクの作成



1. 備品番号収集ノードの中でリンク元とリンク先をクリックします。
2. 確認のメッセージが出ます。”はい”をクリックします。



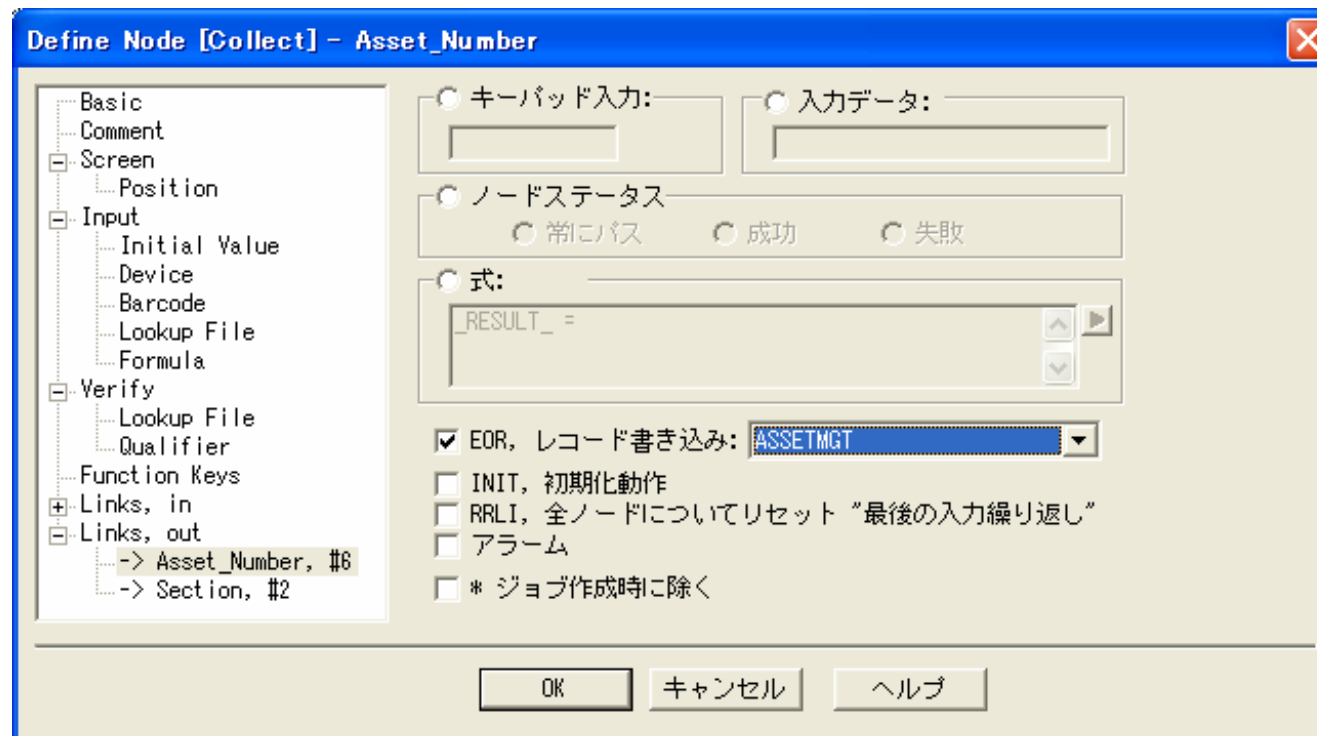
自己ループリンクの作成



自己ループリンクにより、F1キーが押されるまで備品番号の収集を続けます。

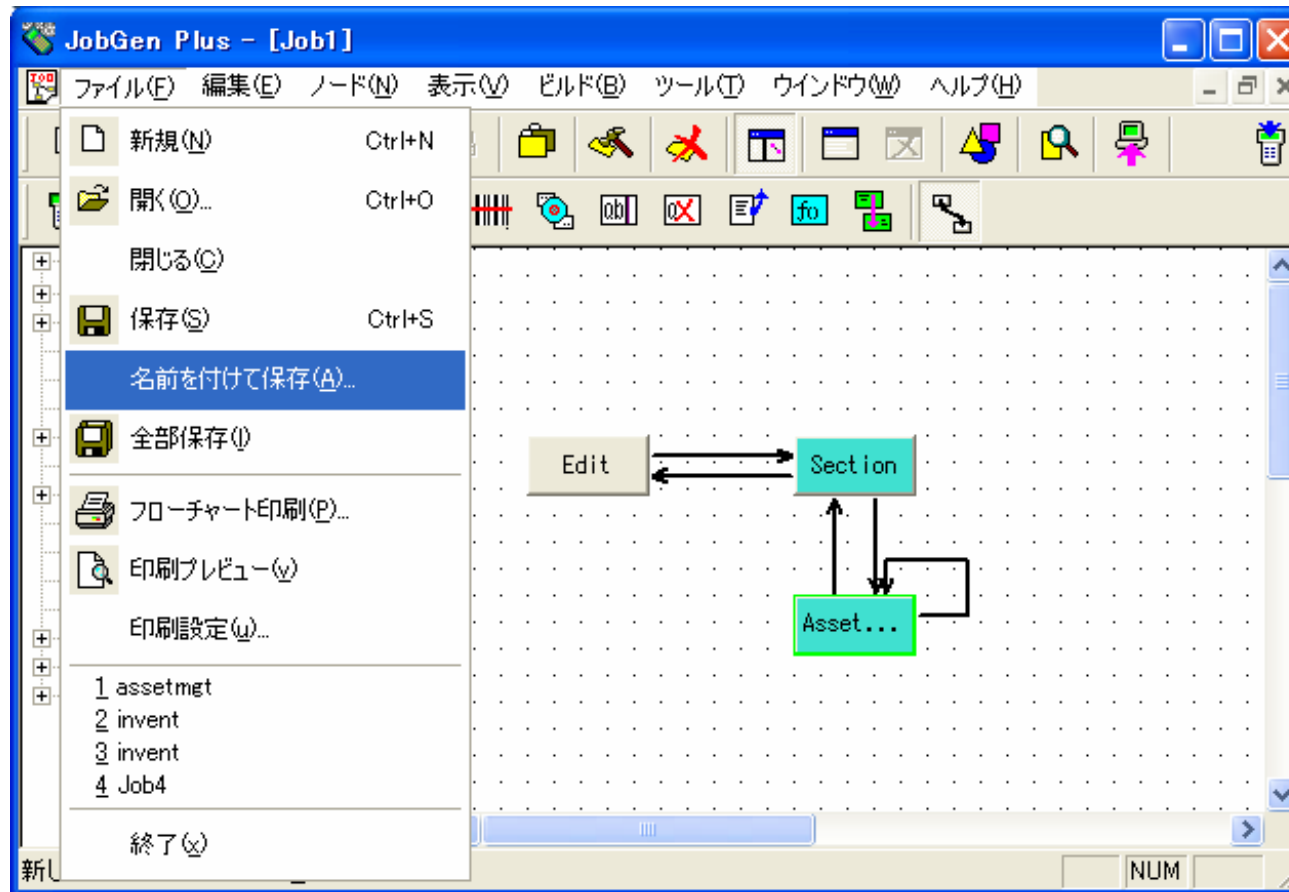
リンク上をダブルクリックします。

自己ループリンクの作成



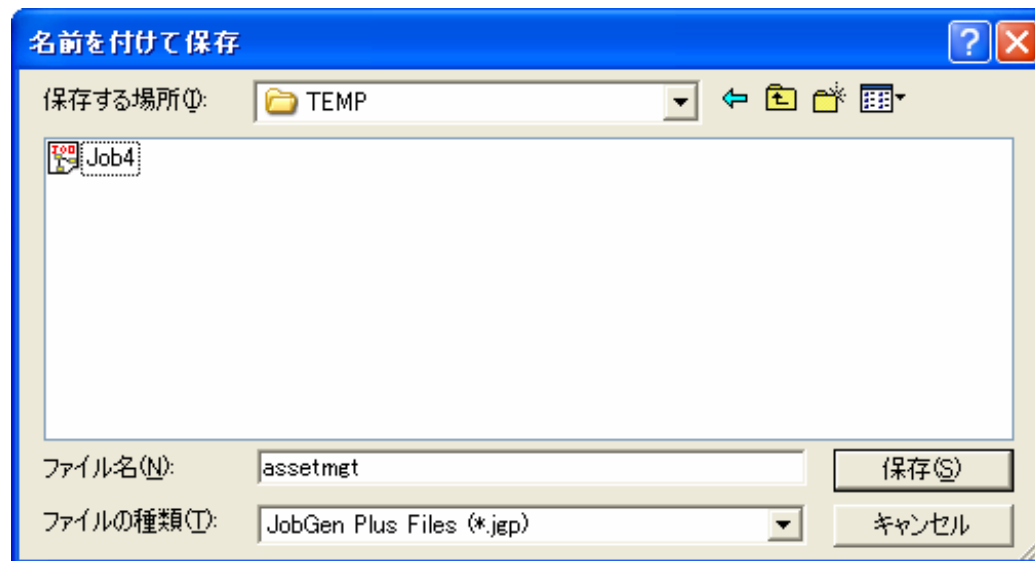
1. 収集したデータをファイルに書き込むために"EOR,レコード書き込み"をチェックします。
2. 定義したレコード名を選択します。
3. ノードステータスは常にパスをチェックします。

アプリケーションの保存



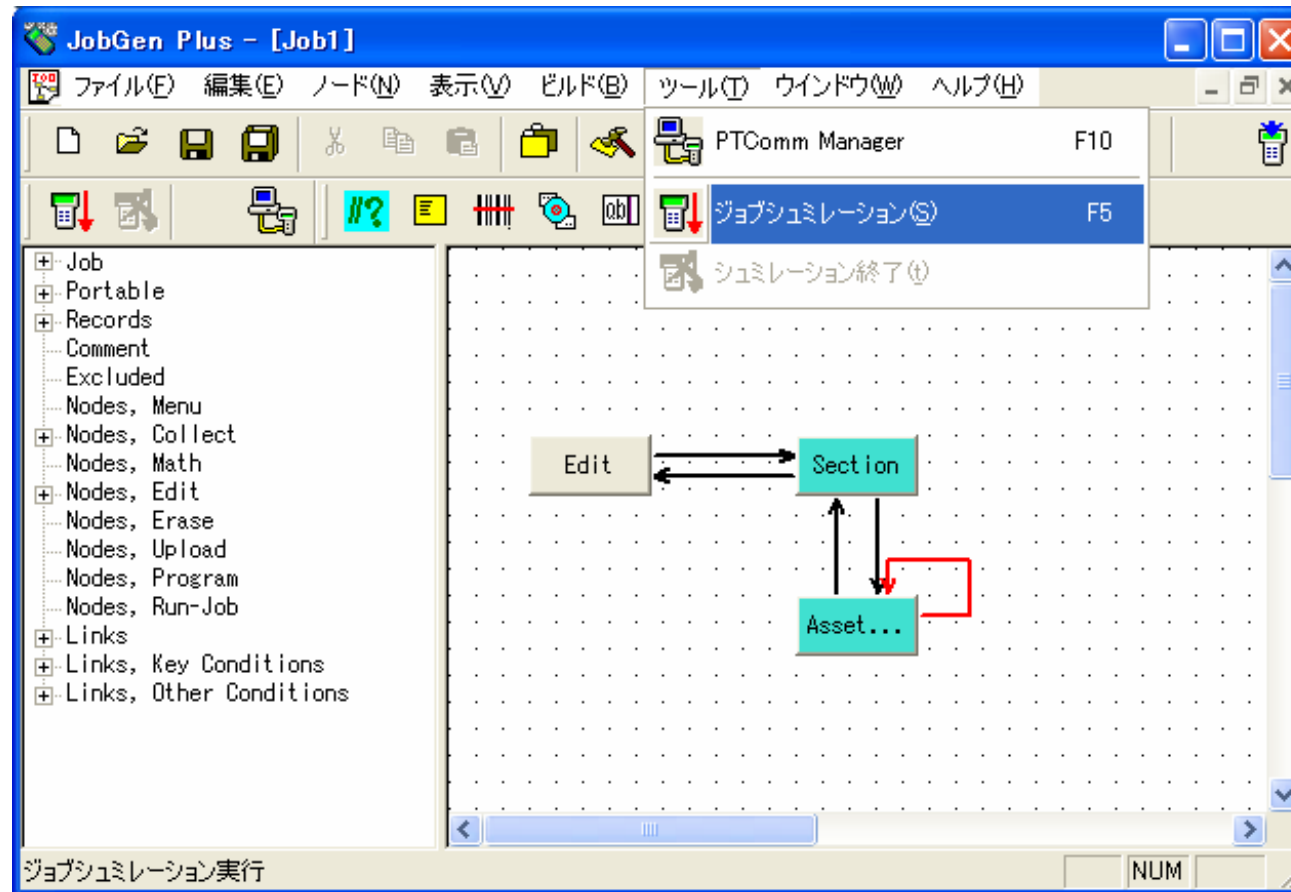
1. ファイルメニューから名前を付けて保存を選択します。

アプリケーションの保存



保存するフォルダを指定し、
保存するファイル名を指定し
ます

ジョブのシミュレーション



ツールメニューの
ジョブシミュレーション
を選択します。

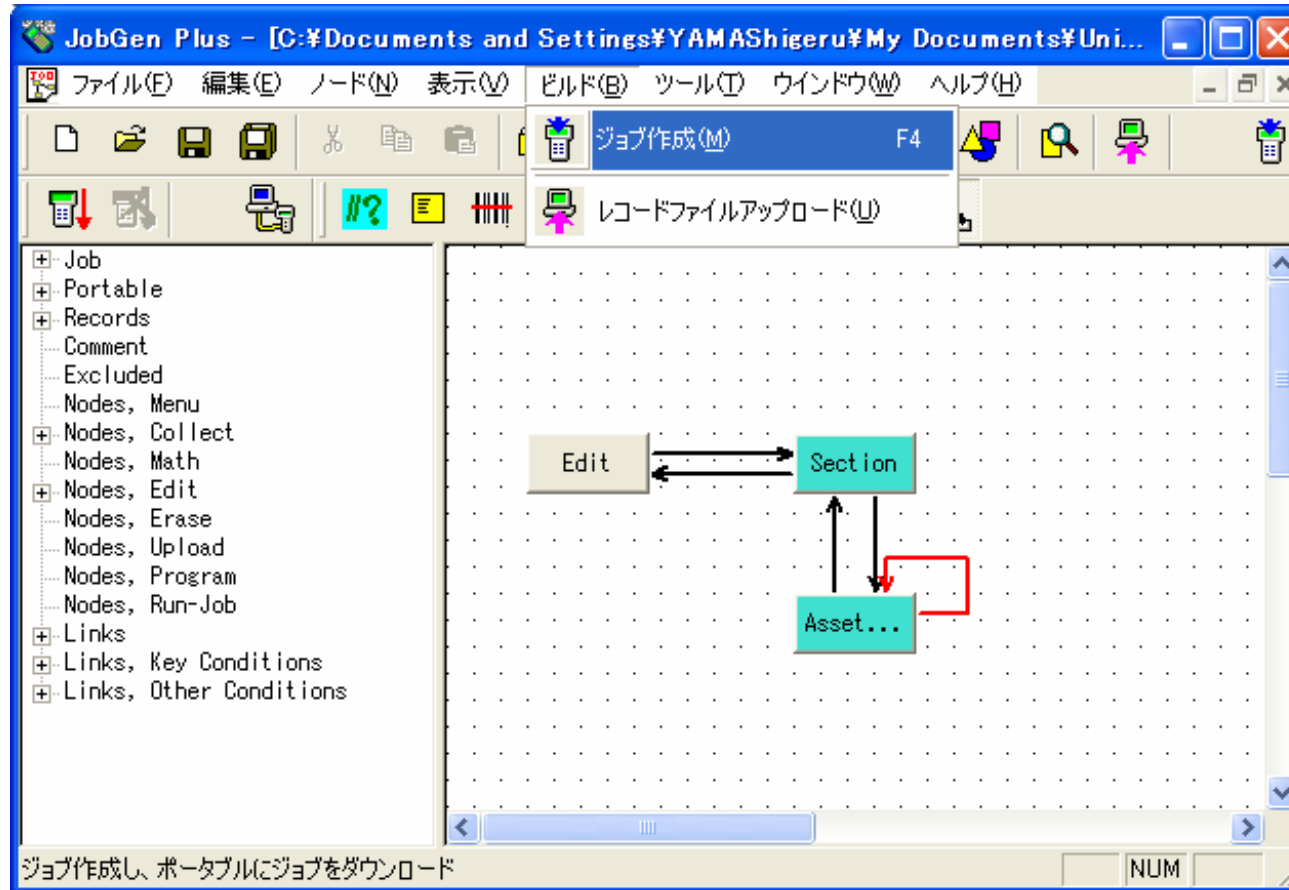
ジョブのシミュレーション



実際のポータブルターミナルに似たスクリーンが現れます。

キーボードからデータを入力して動作を確かめることができます。

ポータブルターミナルへの プログラム転送



ビルドメニューのジョブ作成を選択します。

プログラムがコンパイルされ、接続されているポータブルターミナルに転送されます。